

# 岩手山

## 概況

岩手山西側(滝ノ上付近)を震源とする地震がやや増加しましたが、岩手山直下を震源とする地震の数は少なく、黒倉山山頂の噴気の状態にも変化はみられませんでした。

## 地震活動の状況

火山性地震の月合計回数は59回でした(2004年12月32回)。

- ・東岩手山(山頂付近)では、震源が精度良く求まる地震が2回発生しました。

やや深いところ(深さ10km前後)を震源とする低周波地震は観測されず、2004年4月以降少ない状態となっています。

- ・西岩手山(大地獄火口~姥倉山)では、震源が精度良く求まる地震はありませんでした。

- ・岩手山西側では、滝ノ上付近を震源とする地震が9日に19回発生しました。しかし、地震の規模は小さく、その後は1日数回程度に減少しました。

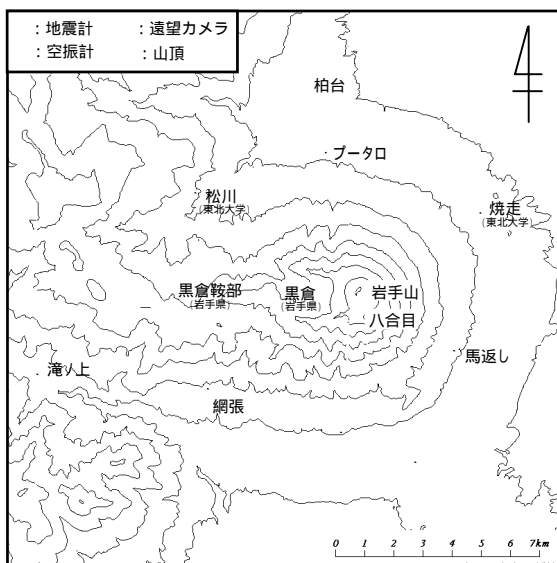
火山性微動は観測されませんでした。

モホ面付近(深さ30km前後)が震源とみられる低周波地震は、5回観測されました(2004年12月4回)。

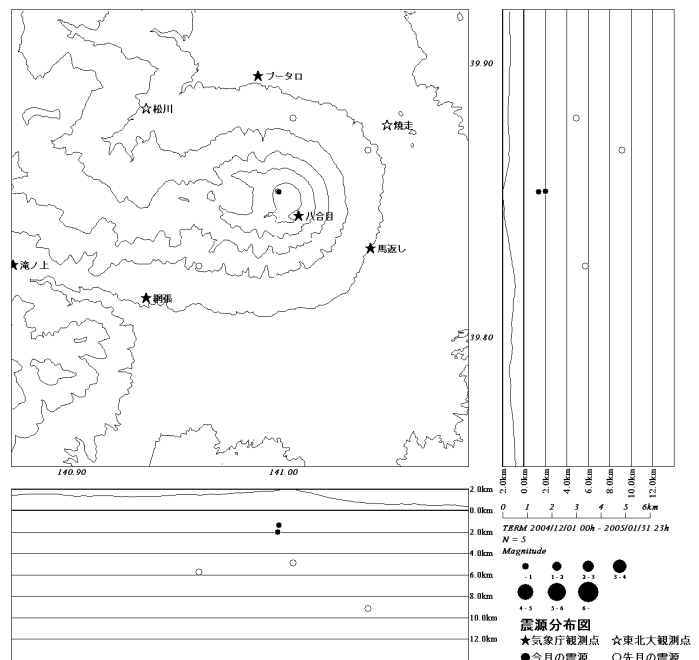
## 噴気活動等の状況

遠望観測(監視カメラ)では、悪天のため黒倉山山頂の噴気の高さを確認できた日が10日間程しかありませんでした。確認できた日に観測した噴気の高さは80m以下で変化はみられませんでした。

この資料は、東北大学及び気象庁のデータを基に作成しています。



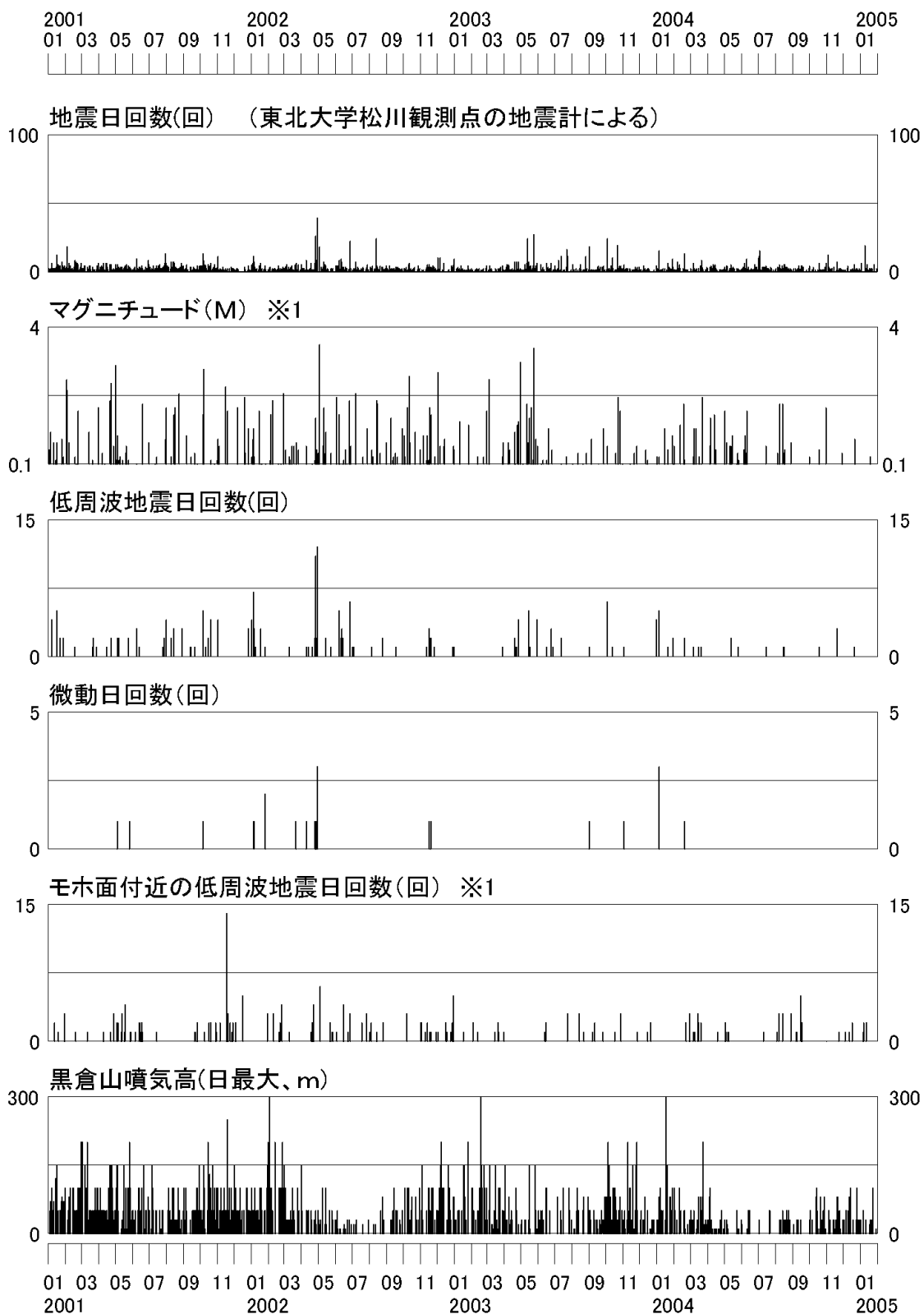
岩手山火山観測点配置図



岩手山震源分布図(2004.12.1~2005.1.31)

# 岩手山 活動一覽

2001/01/01~2005/01/31



1 弘前大学、東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所、及び気象庁のデータを基に作成しています。